

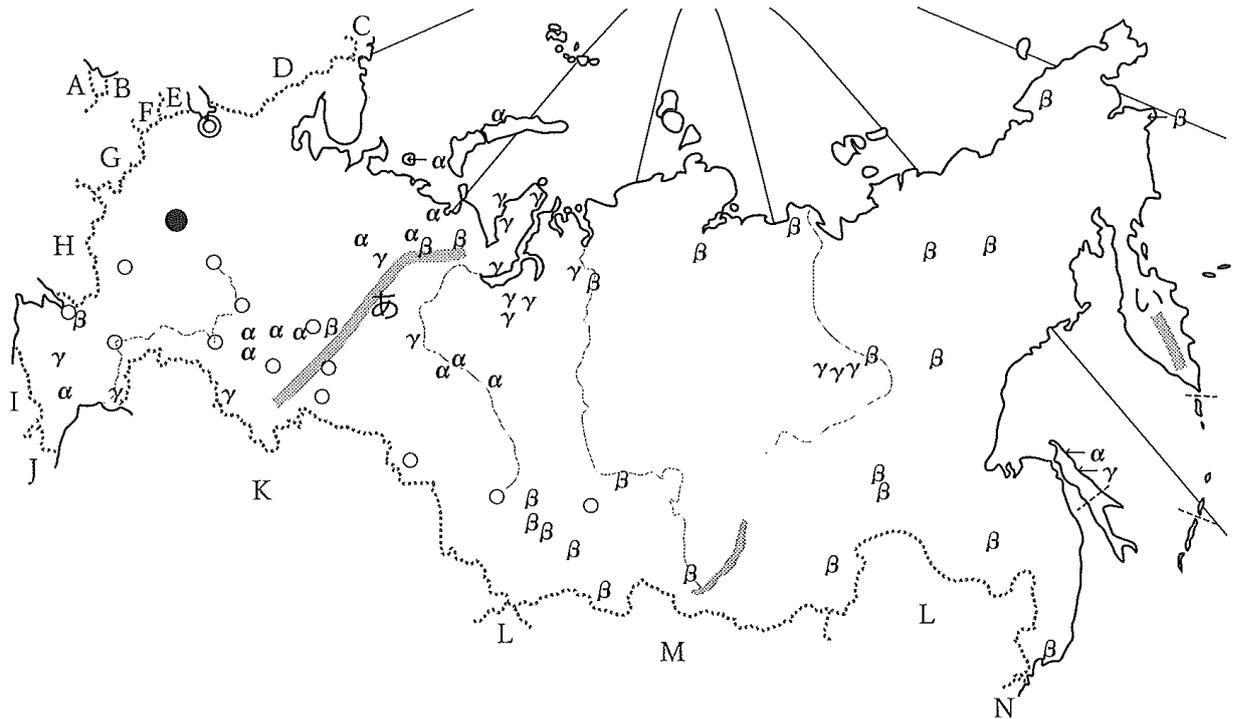
強者の戦略

2025年度 京大地理 第1問〔問題編〕

今回は2025年度の京大の第1問を解説したいと思います。地誌を出題してくる大学は結構ありますが、ロシアの地誌を出題してくることはあまりありません。受験生の苦手分野が出題されていますが、ぜひチャレンジしてみてください。

I 地理探究問題

ロシアに関する下の地図を見て、右ページ問(1)～(5)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。



資料：Atlas России (2009)など

注：図中の実線は海岸線を、点線は内陸の国境線を示す。海岸には「海」と呼称される水域も含む。点線の分岐は、内陸で隣接する国A～Nの境界の一部である。内陸の細い線は主要な河川を示す。破線は日本との間で国境にかかわる条約が結ばれていない地域を示す。

強者の戦略

問

- (1) 図中の海上に示した経線は、一定の経度ごとに引かれている。何度の間隔で引かれているか、10の倍数で答えよ。
- (2) 図中に示したあといの帯状の地帯には、対照的な特徴をもつ大地形がある。両者の地形を比較してみたとき、**あ**の特徴とその成因を解答欄①に、**い**の特徴とその成因を解答欄②に、それぞれ答えよ。
- (3) 図中の●は人口が1200万人以上の都市を、◎は500万人以上の都市を、○は100万人以上の都市を示す(2021年)。ロシアにおけるこれらの都市の空間的な分布にはどのような特徴があるか、気候との関わりに触れつつ、解答欄①に述べよ。また、◎の都市名を解答欄②に答えよ。一方、○の都市が分布する一帯には、都市人口を支える食糧の生産に適した土壌がみられる。その土壌を意味する現地での名称を解答欄③に答えよ。
- (4) 図中の $\alpha \cdot \beta \cdot \gamma$ は3種類のエネルギー資源の主要な産地を示す。この3種類のうち、ロシア国内でのエネルギー消費量(2022年、熱量換算)がもっとも少ないものを選び、該当する記号を解答欄①に、資源の名称を解答欄②に、それぞれ答えよ。また、ロシアでは α と γ の陸路での輸送が盛んであるが、その中心となる輸送手段の名称ならびに長所と短所について、解答欄③に50字以内で述べよ。
- (5) ロシアではさまざまな言語が話されているが、その多くはロシアに隣接する地域で用いられる言語と同じ系統に属している。そうした言語のうち、ロシア語と同系統(語派)の言語を主要言語とする隣国をA~Nから3つ選び、解答欄①に記号で答えよ。また、この言語の系統(語派)を何と呼ぶか、解答欄②に答えよ。

強者の戦略

2025年度 京大地理 第1問 [解答解説編]

【解答】

- (1) 30度
- (2) ①古生代の造山運動時期に形成された山脈で、雨や風などの外的営力による侵食作用を受け、なだらかな山脈となっている。②中生代・新生代の造山運動時期に形成された山脈で、侵食作用はあまり進んでおらず急峻であり、地震や火山活動も見られる。
- (3) ①比較的温暖湿潤な西部に集中し、大陸性気候が強まり冬季の寒さが厳しくなる東部にはほとんど分布していない。②サクトペテルブルク ③チェルノーゼム
- (4) ①β ②石炭 ③パイプライン。輸送コストは小さいが建設費用は高く、パイプライン上の国家間関係に輸送量が左右される。(49字)
- (5) ①A・G・H ②スラブ語派

【解説】

- (1) 京大では以前から緯度と経度は定期的に出題されていたので、定番の問題と言えるでしょう。下に類題を載せておきます。気になったら調べてみてください。

アムール川はユーラシア大陸東岸の北緯 **a** 度付近を東に流れる大河であり、(以下略)

問(1) 本文中の **a** ~ **e** に入る最も適当な数値、用語、地名を記せ。

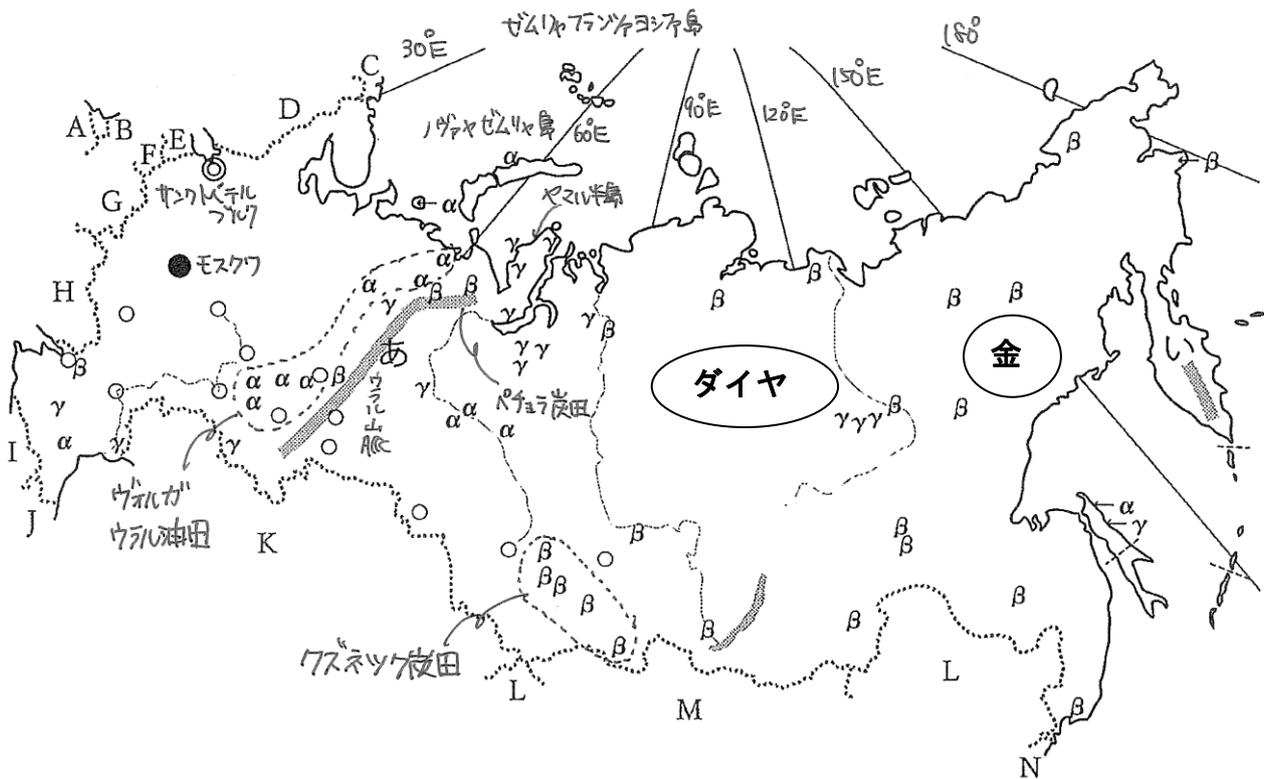
ただし、**a** には、10、20、30、40、50、60、70、80 のいずれかの数値が入る。

(京大 2007年)

さて、ロシア関連の緯度・経度ですが、「**あ**」の山脈が古期造山帯のウラル山脈であると判断し、まずはここを通る経線が 60° E という風に見抜きたいですね。あとはロシア国土の西端か東端に注目します。西端の場合は、◎の都市がサクトペテルブルクであり、ここを通る経線が 30° E となります。東端の場合は、カムチャツカ半島の東側を通る経線が日付変更線に近いと判断し、 180° となります。そうすると、 30° E と 60° E の間隔が1つ、 60° E と 180° の間隔が4つあるため、1つの間隔は 30° 分ということになります。

ちなみに、ウラル山脈を通る 60° E の経線は、さらに北側のノヴァヤゼムリャ島(ゼリーが腐ったみたいな名前)、ゼムリャフランツァヨシファ島(腐ったゼリーがゾンビとして復活してきたみたいな名前)を通過します。この2つの島を結べば、ウラル山脈と 60° E の経線を見抜けると知っておいてください。

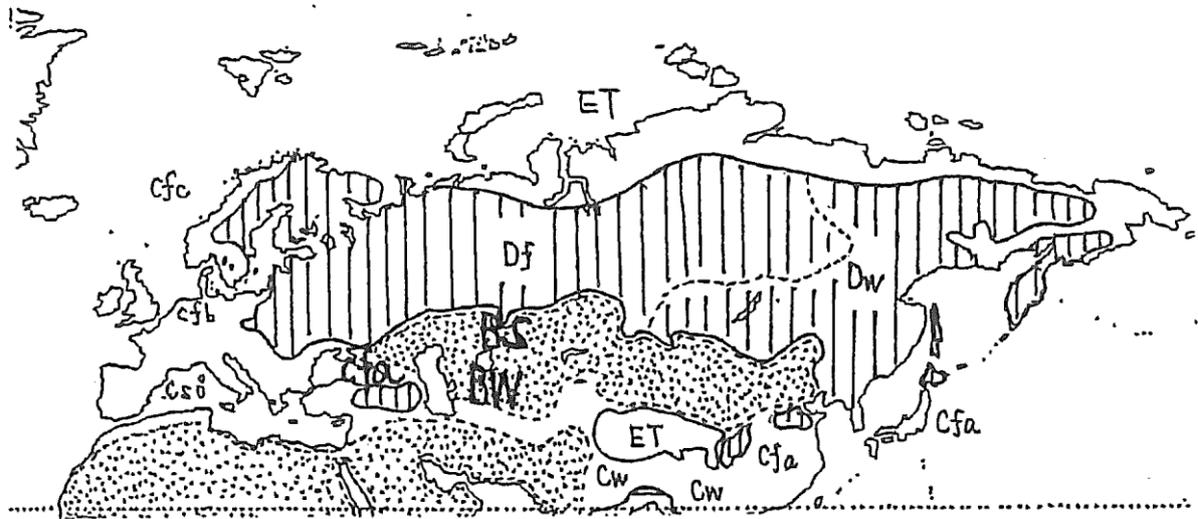
強者の戦略



(2) 基本的な問題ですが、結構コンパクトにまとめようとする手間取ったりする問題ですね。「あ」は前問でも述べたように古期造山帯です。特徴としては低くてなだらかな山脈ということになります。その成因を考えると、「古生代に造山運動を受けて山脈となったが、風や雨などの外的営力によって侵食され、低くなだらかな山脈になった」という流れで書けば良さそうです。「い」は新期造山帯に属する山脈です。帝国書院の地図帳ではカムチャツカ半島と記載されているだけで、山脈の名前は書かれていません。あまり勉強が進んでいない受験生の人にとっては「い」の地形の特徴が頭に浮かばなかったかもしれないですが、環太平洋造山帯の一環で新期造山帯に属するというのを忘れないようにしてください。特徴としては高く険しい山脈ということになります。その成因を考えると、「中生代・新生代に造山運動を受けて山脈となったが、風や雨による外的営力によって侵食される期間が短く、高く険しい山脈になった」という流れで書けば良さそうです。ただ、外的営力の記載が繰り返されて冗長になるので、ここを削って地震や火山に触れた解答としています。

(3) 基本的な問題ですが、結構コンパクトにまとめようとする手間取ったりする問題 PART2 ですね。ぱっと見、100万都市は西部と南部に分布しています。寒さを避けているんだろうな～とすぐに分かると思います。一応、ケッペンの気候区分図も載せておきます。ロシア西部は亜寒帯湿潤気候(Df)ですが、気温の年較差が小さく、冬季でも温暖な西岸海洋性気候地域に近いこともあって、暮らしやすい気候となっています。一方の東部は、気温の年較差が大きく、冬季の寒さは厳しいものとなります。これらをまとめて解答にしています。

強者の戦略



モスクワやサンクトペテルブルク、さらには100万都市の位置などを気にすれば、もっと詳細な解答もできあがると思いますが、本問ではそこは求められてはいないと思い、あっさり解答となっています。②サンクトペテルブルクと③チェルノーゼムは、受験本番では絶対に落とせない基本問題です。

ついでにとっっては何ですが、2009年のセンター試験地理B追試で出題された、スラブ系民族の主な居住地域の図も掲載しておきます。気候以外の背景から、このメッシュのようにスラブ系住民が集中する理由を考えてみるのも面白いでしょう。



Diercke Weltatlas により作成。

図 3

強者の戦略

(4) ①②とりあえず、資源の種類と位置を確定しておきます。αは古期造山帯のウラル山脈に近く、石炭と思われるかもしれませんが、原油が該当します。ヴォルガウラル油田の位置に当たっています。古期造山帯のウラル山脈付近に3つ描かれているβが石炭に該当します。P4に示したロシアの図にも書きましたが、石炭はクズネツク炭田あたりで判定した方が無難です。そして、ヤマル半島に集中しているγが天然ガスに該当します。ヤマル半島と天然ガスの関係を知らなかった人は、この問題で知識を蓄えてください。ヤマル半島は天然ガス埋蔵量はロシア最大と言われていて、世界へ輸出されています。ヨーロッパ諸国を中心に、ロシアに対して経済制裁を行っている状況ですが、天然ガスに関しては輸入を継続しています。あと、シベリア地方ではダイヤモンドや金が採掘されています。

では問題を解いていきましょう。真摯に地理学習を続けていくと、「ロシアは天然ガス中心のエネルギー供給を行っている(下表参照)」ということをおぼとしますので、石炭か原油のどちらかが解答になるだろうと予測できます。ここから先は難しいと思いますが、東部に主に集中しているβ(石炭)を西部の経済中心に移送して利用するのがやや困難である(東部の石炭は主に韓国やインドなどのアジアに輸出されている)、ロシアの石炭産出量は世界最上位ではない、などの情報から、エネルギー消費量がもっとも少ない資源を石炭と判定しましょう。

③おもな国の1次エネルギー生産と供給 (石油換算, 単位: 百万トン) IEA 資料

2021	1次エネルギー生産量					輸入	輸出	1次エネルギー供給量					
	計	石炭	石油	天然ガス	電力・パイなど			計	1人当たり(kg)	石炭	石油	天然ガス	電力・パイなど
中国	2 982	2 113	199	174	497	887	78	3 738	2 647	2 266	678	299	495
アメリカ	2 214	280	726	812	396	508	598	2 139	6 470	254	764	723	398
インド	609	303	35	28	244	391	70	944	671	421	223	55	244
ロシア	1 530	257	532	652	89	22	691	833	5 809	128	161	457	87
日本	53	0	0	2	51	369	15	400	3 184	109	151	87	53
ブラジル	314	3	154	22	136	67	78	299	1 395	17	107	37	138
イラン	384	1	156	224	3	6	95	294	3 339	1	82	208	2
韓国	52	0	1	0	51	307	59	292	5 616	75	112	54	51
カナダ	539	25	280	161	73	73	322	290	7 591	10	95	117	69
ドイツ	102	28	3	4	67	225	36	288	3 461	53	91	78	66
インドネシア	446	299	34	51	63	51	262	235	860	71	68	34	62
フランス	127	0	1	0	126	132	24	235	3 451	9	66	37	124
サウジアラビア	601	0	519	82	0	19	384	232	6 462	0	150	82	0
メキシコ	154	3	99	32	20	93	66	178	1 394	8	78	72	20
ナイジェリア	231	2	70	35	124	23	83	165	773	2	23	17	124
トルコ	47	17	4	0	26	124	9	159	1 895	41	43	49	26
世界計	14 673	4 005	4 286	3 495	2 887	5 522	5 537	14 759	1 873	4 013	4 355	3 487	2 904

フランスにはモナコを含む (注)1次エネルギーの分類は表④と同じ

④石炭の産出 (万トン) (E)

国名	1990	2000	2010	2021	%
中国	107 988	129 900	342 845	412 583	57.9
インド	20 183	31 370	53 269	77 819	10.9
インドネシア	733	6 285	31 919	59 584	8.4
オーストラリア	14 179	21 617	33 814	39 401	5.5
ロシア	(1)19 337	15 254	22 258	35 686	5.0
アメリカ	63 204	52 275	44 402	23 712	3.3
南アフリカ	17 480	22 420	25 452	22 865	3.2
カザフスタン	(1)12 238	7 489	10 365	10 264	1.4
コロンビア	2 047	3 814	7 441	5 585	0.8
ポーランド	14 749	10 222	7 617	5 501	0.8
世界計	323 302	328 023	605 902	713 104	100.0

(1) 1992

強者の戦略

- ③ α と γ が原油と天然ガスに該当するので、輸送手段はパイプラインと分かります。あとはパイプライン輸送の長所と短所ですね。長所は輸送コストの安さです。長距離輸送のコストはパイプラインが最も低くなっています。短所は、建設時に多額の設備投資が必要となることです。これだけではあまり面白くないので、国際関係にも触れておきます。ロシアからの天然ガスパイプラインはウクライナを經由し、ヨーロッパに送られています。ロシアとウクライナが係争中により、このパイプラインが 2025 年 1 月 1 日に停止されました。ヨーロッパからすれば、経由国の状況により、天然ガス供給が左右されることとなります。この点を短所の一つとして解答に盛り込みました。
- (5) スラブ語派を探す問題です。B がカリーニングラード(ロシアの飛び地)なのかりトニアなのか分かりづらいですが、A のポーランド、G のベラルーシ、H のウクライナがスラブ語派で決定なので、A・G・H が解答になります。

ここまで読んでいただいた皆さん、お疲れ様でした。次回は恐らく、2025 年の京大第 2 問の解説でお会いいたしましょう。